

國府

〔倭名類聚抄五〕紀伊國國府在名草郡行

〔三代實錄三十四〕元慶二年九月廿八日庚申、紀伊國司言、今月二十六日亥時、風雨晦冥、雷電激發、震

於國府聽○聽恐事及學校并倉屋被破、官舍二十一字、緣邊百姓三十三家○下

〔紀伊續風土記九〕府中村

直川村の東十四町餘にあり、和名抄國府在名草郡、行程上四日、下二日、とある地、卽是なり、故に今に至るまで古名を存して府中といふ、往古は此邊の總名を直川郷といふ○註當村國府のありし所なるを以て府中といふ○中

國府遺蹤 其地今詳ならず、按ずるに村中に平林といふ少し高き地あり、水野大夫の別業の地なり、古より無高の地にして、堀耕すものなし、此地官府ありし跡ならん、

〔倭名類聚抄五〕紀伊國○註管七○註伊都 那賀賀音名草奈久佐國府、海部 阿末 在田阿利日高比太

牟婁 牟呂

〔延喜式二十二〕紀伊國、上管伊都伊都那賀那賀日高日高牟婁牟婁○中略

〔皇國郡名志〕紀伊國七郡

伊都 廣口 大畑山 大野 橋本 禿 二尊院 紙谷

那賀 花坂 高野山 大津 高野辻 粉川寺 泉界

名草 根來山 和歌山 八軒屋 岩手 泉界

海部 加田 粟島社 和歌ノ浦 此郡ニ屬、西北ノ海ニ向

在田 有田郡ヲ越テ、六七郷在家、此郡ニ屬、和界ヨリ細長ク海ニ貫

日高 印南 小松原 日高川

牟婁 田邊 近ソエ 鹽見崎 宇ラ 本宮 白川 武部 那智山 請川 小口 富山 熊野 阿瀧 有馬 ミロツ

右爲近國